

## 前回のご指摘概要

### 1. よろず支援拠点について

#### (よろず支援拠点の評価方法)

- ・よろず支援拠点は、商工3団体とどうデマケするか整理することが重要。そのためには、よろず支援拠点の成功事例と3団体の成功事例の場合分けを積み重ねて評価していくことが重要。
- ・よろず支援拠点を評価する際は、相談実績等の件数（量）も重要だが、相談内容の質も大切。
- ・よろず支援拠点の評価方法については、経営者からの満足度が第一。相対評価で開示することが望ましい。評価が悪い機関についてはフォロー体制が必要。

#### (よろず支援拠点の役割など)

- ・よろず支援拠点には、コンシェルジュの役割を果たしてもらいたい。
- ・よろず支援拠点は、創設当初の「よろずに行けば解決する」という明確なイメージを47拠点それぞれに対してもう一度構築する必要。
- ・よろず支援拠点が他の支援機関では支援できない空白部分を埋める役割を果たすためには、他の支援機関の意見をヒアリングし、纏めてみる必要があるのではないか。
- ・よろず支援拠点と他の支援機関は、それぞれの役割を明確にして行けば、より良い連携関係が構築されると思う。

### 2. 認定経営革新等支援機関について

- ・認定経営革新等支援機関制度は、経営改善計画の作成、合意形成及びフォローアップをきちんと行えば、とても良い制度だと思う。これらの取組を評価できる仕組みが必要。現行の調査に最低限取り組むよう仕向けるべき。
- ・認定経営革新等支援機関については、「評価」よりも「更新」を推奨したい。活動状況の報告を義務化し、その報告内容をもって更新の判断をすべき。
- ・認定経営革新等支援機関は、支援の裾野を広げる上で重要な機関だが、支援の質にバラつきがある。更新制度に賛成であり、更新の条件として所定の研修受講なりを必須とすることを要望する。

### 3. その他

- ・支援機関を「どのように評価するのか」を議論することはとても大切。

- よろず支援拠点と他の支援機関との連携において、よろず支援拠点はいつまで続くかわからないがゆえに他の支援機関との連携に消極的との意見もある。よろず支援拠点に対して、中長期的ビジョンを立てて示す必要があるのではないか。
- 今後、中小企業支援において、事業再生や廃業等が相当数発生することを認識して頂きたい。